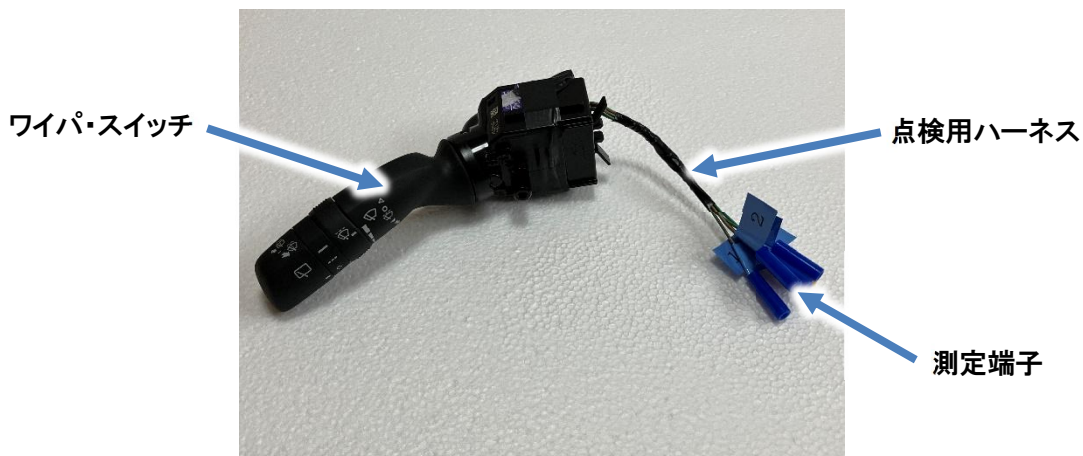
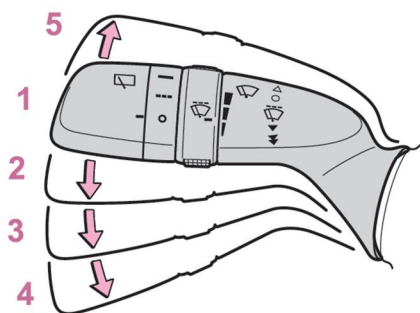


- 各端子間の測定は点検用ハーネスを使用し測定端子以外で測定しないこと
また、点検用ハーネスはワイパ・スイッチから取り外さないこと



- 測定は抵抗レンジのみで行うこと。またブザー機能は使用しないこと
- 点検する際は、どの間の測定個所の点検を行うか探点員に申告し、了解を得てから点検を開始すること
(申告例:「1-10端子間の低速作動 を点検します。」等)
- ワイパ・スイッチの操作方法は以下の通り
なお「一時作動 (MIST)」の点検は行わない



- 停止
- ☒ 間欠作動 (INT)
- ▼ 低速作動 (LO)
- ▼ 高速作動 (HI)
- ▲ 一時作動 (MIST)

- スイッチ操作 (スイッチ・ポジション) に対する端子間の導通は以下の通り
なお端子番号は点検用ハーネスの端子番号に対応している

		端子番号				
		1	2	3	4	10
ワイパ・ スイッチ・ ポジション	○ 停止	●	●			●
	☒ 間欠作動 (INT)		●			●
	▼ 低速作動 (LO)			●		●
	▼ 高速作動 (HI)				●	●

※ ●—●のみ導通がある

1. スリップリング間の導通点検

- ・基準値：導通があること

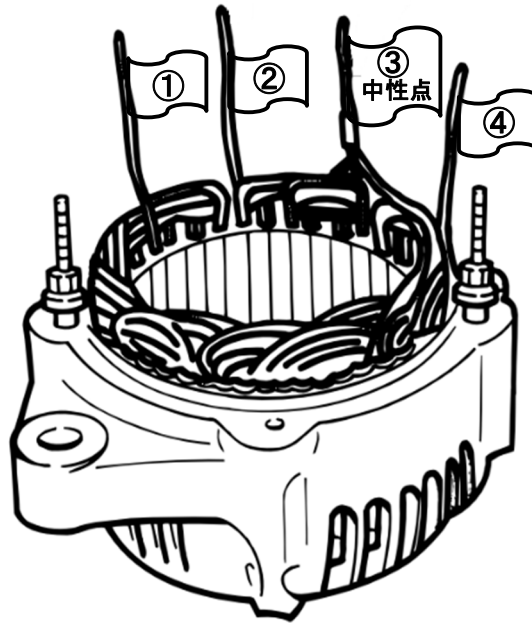
2. スリップリングとロータコア間の絶縁点検

- ・基準値：10MΩ以上

3. ステータコイル各相の引き出し線と中性点（N端子）間の導通点検

※各相の引き出し線と中性点に番号札を貼り付けているので、問題用紙の番号札欄には「番号札」の番号を記入すること。

- ・基準値：導通があること



4. 点検中に、サーキット・テスタのブザー機能は使用しないこと。

5. 点検開始前に、どの間の測定個所の点検を行うか採点員に申告し、了解を得てから点検を開始すること。

1. 各端子間の導通の点検には、点検用ハーネスを使用して点検すること。（下図参照）



受験者は点検開始前に、どの個所の点検を行うか探点員に申告し、了解を得てから点検を開始すること。
 （申告例：OFF ポジションの点検をします。等）
 点検作業時は、ハーネスが抜けないように注意すること。



2. アナログ式サーキット・テスタのブザー機能は使用しないこと。

3. 各ポジションの端子間の導通は、下表のとおりである。

* ○—○のみ導通がある。

* 点検時は該当のポジションを、保持したまま確認を行うこと

（ライティング・スイッチ：オートライト装備車）

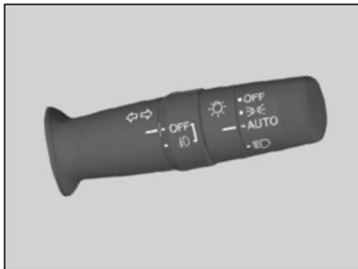
端子 ポジション		1	6	7	8	11	12
		OFF	○—○				
ライティング スイッチ	 (車幅灯)	○—○				○	
	AUTO	HI (ハイビーム)	○—○			○	
		PASSING	○—○		○		
	 (前照灯)	LO (ロービーム)	○—○				○—○
		HI (ハイビーム)	○—○			○	○—○

【問題3】留意事項（2／2）

4. ライティング・スイッチの操作は、以下のとおりである。

■ヘッドライト・車幅灯

車外の明るさに応じて自動で点灯します。手動で点灯/消灯させることもできます。パワーモードがONモードのとき、ライトスイッチを **AUTO** にすると自動点灯が作動します。



■手動点灯 / 消灯

ヘッドライト・車幅灯の点灯：
ライトスイッチを **D** にします。

車幅灯の点灯：

ライトスイッチを **3/E** にして手を放します。

- ▶ ヘッドライトは車外の明るさに応じて自動点灯します。
- ▶ 停車中に行くとヘッドライトは消灯します。発進するとヘッドライトの自動点灯が再開します。
- ▶ 車幅灯の自動点灯を再開するにはスイッチを **D** にしたあと、 **AUTO** にします。

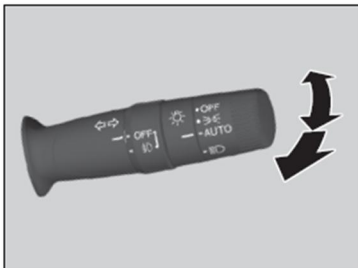
ヘッドライト・車幅灯の消灯：

停車中にライトスイッチを **OFF** にして手を放します。

- ▶ 発進するとヘッドライトと車幅灯の自動点灯が再開します。

■ハイビーム

ヘッドライトが点灯しているとき、レバーを前方に押すとハイビームに切り換わります。手前に引くとロービームに戻ります。



■パッシング

レバーを手前に引くとハイビームが点灯します。

- ▶ レバーを放すとレバーはロービームの位置に戻ります。